



**\*至急のお知らせがあります。**

「小冊子 Vol.118 は次々新情報が入り書き足しが続き、入稿がまだ出来ていませんのでしばらくお待ちください。

## トランプが演じたコロナ陽性入退院劇

安倍政権が憲政史上最長記録 7年8か月を達成した丁度その時、持病が悪化したのは安倍晋三氏にとって「もっけの幸い」であった。

安倍政治が評価されてもされなくても同じ政権が 8年近くも続けば「金属疲労」で人気も支持も下がるのは避けられない。「しばらく間をおいて出直し」が正しい選択である。

トランプ大統領から法外な増額を要求されていた「思いやり予算」の交渉は河野太郎前防衛大臣とエスパー国防長官の間で行われ、トランプに敵対する軍産複合体(軍事産業)からの購入が決まっていたイーダス・アショア約 2,000 億円を官邸の一存でキャンセル、結果従来の米軍先制攻撃、自衛隊専守防衛の役割分担を排し自衛隊の敵地攻撃を可能にした上に、現在の思いやり予算約 7,000 億円にキャンセルで浮いた 2,000 億円を増額することで決着した。しかしトランプは対日圧力で増額を勝ち取ったと国民にアピールしたいので無理難題のジャパンバッシングを演出してくる。トランプにとって安倍晋三は日本で唯一「話の出来る相手」だから安倍をバッシングしたくない。安部の使いが事前に安部の総理辞任の意志をトランプに伝えに行ったら(トランプの意を汲んでの)「仮病だろう」と言われたと言う。トランプにとって石破茂は野人、岸田は上品だから両人共叩きにくい。無派閥、無個性の菅義偉は「糠に釘」で叩きやすい。そこで来年 10 月衆院任期満了総選挙までの理想的菅内閣が誕生したのである。トランプの世界戦略は再選後が本番だから、安倍には英気を養ってもらいたいのがトランプの本音。

さて、マスク無し、握手、ハグもお構いなし、中には頻りにキスする者まで多く見られたトランプのファンディングパーティー後トランプは自らツイッターに新型コロナ陽性になったと発表。本年 3 月ブラジルの大統領のホワイトハウス訪問の際、トランプはコロナに感染していた随行の高官から感染したが、極秘裏に予防注射摂取、コロナ非常事態宣言の時期でもあったので何もなかったことにしたことがあった。トランプは新型コロナには免疫になっているので感染しても直ぐ陰性になることは分かっている。今回の陽性反応は安倍同様「もっけの幸い」。

高熱が出たなど仮病で 3 日間入院、その間ホワイトハウスの報道官から「48 時間が勝負」など大統領執務が出来なくなるかも知れないと煽り、習近平(中)、プーチン(ロ)、ジョンソン(英)、さらには金正恩(北朝鮮)からまでも見舞いが寄せられるほど世界中の注目を集めた。そして 10 月 5 日夕刻病院からヘリでホワイトハウスに戻り世界中に元気な姿を見せた。第一声は「Don't be afraid of COVID. Don't let it dominate your life. We will beat this together.」(コロナなど恐れるな。コロナにあなたの生活を支配されるな。みんなと一緒に叩き出すのだ)であった。

トランプはコロナに襲われたが 3 日でコロナに勝ってみんなの前に立っている。バイデンを見ろ、誰もいないトイレの中でも黒いマスクをしている。コロナの負け犬だ！俺はコロナなんか怖くない、だからマスクなんかしない。

みんなでコロナをぶちのめそう、ついでに負け犬バイデンもだ。

こうして小物でキャンキャン騒ぐ負け犬バイデン像を浮き彫りにするトランプ。

役者が違い過ぎる、もはやバイデンはトランプの敵ではない！

私にとっては既に米大統領選は終わった。

私は今トランプ再選後にやって来る「成す術無き、抗しがたい不況」にどう対処したらいいのかについての有志の方々の為に「インターネット実践経済セミナー」の準備をしているところ。

\* [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) でトランプに負けない私の元気な泳ぎっぷりをご覧ください。